

5月も半ばとなりました。昨日39県で緊急事態宣言が解除されました。東京都はこれまでと同様、緊急事態宣言が出されたままになり、解除にはなりません。ですから、学校への登校も通常通りにはならず、来週の火曜日、今週同様の「課題回収・配布日」を設けます。どうですか、課題の進み具合は？計画表も渡しましたが、計画通りに行っていますか。なかなか計画通りに進めるというのは難しいですね。私は、自宅勤務という日は必ず、このことはやる、と決めてから仕事にとりかかるようにしています。自分でしっかりと決めてから始めるとできるものです。

なかなか宿題とか勉強とかやらない人がいます。そういう人の中には「だってやる気が出ないから、やらないんだよ。」という人がいますよね。おうちの方に「いいかげん勉強しなさい。」と言われたら「今やろうと思っていたのに、やる気がなくなった。」とかいう人はいませんか。それはちょうどいい言い訳ができていただけなのです。

やる気がでないからやらないのではなく、やらないからやる気がでないのです。

まずは、なんでもやってみることです。何かやるのにやる気が出るのを待っていたらずっとそのまま、始まらないことが多いのです。

“まずやってみる”ことです。体育大会や合唱コンクールの練習を思い浮かべてみてください。得意な人はやる気があって始めますが、得意ではない人はやる気が出るのを待っていたら…だからとりあえずやってみますよね。そうすればだんだんとやる気も出てきませんでしたか？勉強も同じ。やってみる、とりあえず。しかしここで注意。苦手な教科からやらないこと。好きな教科からやってみることをおすすめします。苦手なものからやると嫌になることがあります。体育が好きなら体を動かしてから、ほかの教科をやってみてください。

「やらないからやる気がでない。」そう思っていてください。なんでもまずやってみることが大事。こんなことできない、と思っていたこともやってみると案外おもしろくてはまったりすることがあるものですよ。

## 七中生へのメッセージ（5月15日）

5月12日は、短い時間でしたが、元気な姿の皆さんと会えて嬉しかったです。人と接することが少なくなってしまう今、自分と向き合う時間が長くなってきているような気がしています。

いきなりですが、皆さんは自分の長所と短所は言えますか？

短所はいっぱいあるけど、長所は何だろうと思う人もいると思います。

私も自分の長所は何かと考えた時に、長所や短所は人との関わりの中で見つけることができるのだなと思いました。例えば、「今瀬さんって明るいよね。」と言われると、（あ！私って明るいんだ）と気づき、人との関わりの中で、（自分のこういう所ダメだな）と感じたり。人との関わりはとても大切なのだなとふと思いました。

先日配布した学校だよりに、私は「一期一会」と書きました。一生に一度の出会いを大切にという意味です。大人になって感じたことですが、私はとても人に恵まれてきているなと感じています。出会いとは、この人と出会いたいと思って出会うわけではありません。大袈裟すぎるかもしれませんが、出会いとは人生がかわってしまうくらい大切だと思っています。

私は、二つの出会いによって今の職業に就いています。

一つは、ちょうど反抗期だった中学生のころ。小さいころから続けていた音楽が苦痛に感じている時期でした。そんなときに会ったのが私の恩師である中学校の音楽の先生でした。先生の授業を受ける生徒はみんな音楽が大好きでした。音楽は「音を楽しむもの」と教えて下さり、私もいつかこんな先生になりたいと夢をもつようになりました。

もう一つは、「3年B組金八先生」というドラマです。学校を舞台としたドラマですが、金八先生の生徒と向き合う姿勢や一つひとつの言葉に感動しました。

出会いは、人だけではなく様々な作品との出会いもあります。

皆さんも多くの作品や人との出会いを大切にしてください。（今瀬愛実）

（本の紹介）

今回は、本の紹介ですが、stay home と言うことで、なかなか本屋さんにも行きづらい現状かもしれませんね。（そんな時、2、3年生は『数楽大好き』をお楽しみください。）でもそのうち図書館が開くかもしれないかなあ〜！？

で、今回私が紹介する本は、

『さよなら、田中さん』鈴木るりか 著（株式会社小学館）

です。なんとこの作者さん（鈴木るりかさん）は中学生です。先生は中学生にやられてしまいました。どんな話かって？それは読んでのお楽しみ。（ちょっとだけ言うと、小学6年生の女の子が日常で起きたことを綴っているって感じです。でもその1つ1つの出来事に。考えさせられたり感動したりしました。）ほんと！おすすめです。

（清水 肇）